

MARKING (A~Pはマーキングシールの番号です。) ※余ったシールは、好きな所にはってください。

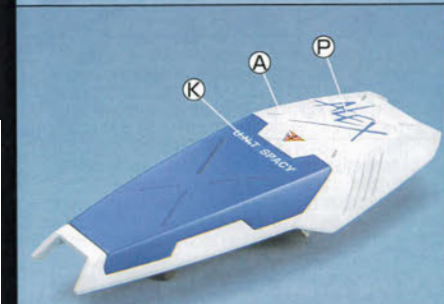
マーキングシール WEAPON

ウエポン



REAR VIEW

リアビュー



RX-78 NT-1 'GUNDAM NT1'

E.F.S.F. PROTOTYPE MOBILE SUIT FOR NEWTYPE

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : RX-78 NT-1
 TOTAL HEIGHT : 18.0m
 WEIGHT : 40.0t
 GENERATOR OUTPUT : 1420kw
 POSTURE CONTROL VERNIER : 19
 MATERIAL : LUNA-TITANIUM ALLOY
 ARMAMENTS : VULCAN GUN
 BEAM SABER
 GATLING GUN
 BEAM RIFLE



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
 ※塗膜には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー(HGガンダム NT1]用,その他カラーセット)をお使いください。

●本体: ホワイト(100%) +グレー(少量) ※または、ガンダムカラー ホワイト13	●腕部、脚部等: コバルトブルー(60%) +インディブルー(30%) +ホワイト(10%) ※または、ガンダムカラー ブルー11	●ビーム・ライフル: グレー(70%) +ブラック(20%) +ホワイト(10%)	●関節、腹部等: インディブルー(35%) +ミッドナイトブルー(35%) +レッド(15%) +ホワイト(15%)	●チョバム・アーマー: グレー(100%) +ホワイト(少量) ※または、ガンダムカラー グレー23	●コクピットハッチ等: レッド(90%) +イエロー(10%)	●胸部インテーク等: オレンジイエロー(80%) +イエロー(20%)
--	--	--	--	--	---------------------------------------	---

1/144 SCALE
HG
 UNIVERSALCENTURY

BANDAI 2004 MADE IN JAPAN

●写真の完成品は、塗装してあります。

0125650



RX-78 NT-1 "GUNDAM NT1"

RX-78NT-1「アレックス」は、RX-78-2の実戦データを元にNT(ニュータイプ)専用機として地球連邦軍が再設計したガンダムタイプのMS(モビル・スーツ)である。NTの存在自体に懐疑的だった連邦軍では、公国軍に比べてその研究は進んでおらず、NT専用MSとはいえ、公国軍のNT専用MSやMA(モビル・アーマー)のようなサイコミュ兵器の搭載やオールレンジ攻撃を想定した装備はなく、RX-78-2のパイロットであるアムロ・レイ少尉の戦闘記録などから、主に追従性の向上を主眼に開発された。既存の機体と大きく異なり、コア・ブロック・システムの廃止と

全天候モニター及びリニアシートを持つ球形コックピットを採用し、固定武装として腕の中にガトリング砲を内蔵している。また、姿勢制御バーニアの各部への増設により、通常の2倍以上の総推力に向上。この機体は、地球上の連邦軍オーガスタ基地で開発され、アムロ少尉の専用機として星一号作戦に合わせて配備される予定で北極基地からサイド6に移送されたが、ここで公国軍特務部隊と交戦。専用装甲を破壊され、2度目の交戦では機体自体も半壊。そのまま終戦を迎えたため、所期の性能を存分に発揮することはなかったとされる。ただし、その基本構造は戦後に生産されたジム系の機体に積極的に採用され、俗に「オーガスタ系」と呼ばれる機体系統を生み出し、後に開発されるMSに多大な影響を与えている。



バックパック

アレックスをはじめとする「オーガスタ系」の機体は、バーニア基部の構造やサーベルホルダーデバイスの配置などが独自のものとなっており、特徴的な形状をもっている。



頭部バルカン砲

60mm口径の実体弾を射出する近接戦闘用の固定武装。連邦製MSの標準兵装となっている。



腕部ガトリング砲

90mmの実体弾を射出する近接及び近距離戦闘用の武装。デバイスの小型化で容積に余裕ができた腕部に収納式の武装として試験的に装備された。

ビーム・サーベル

アレックスが装備するビーム・サーベルは、それまでのほとんどの機体に装備されているユニットと同じ性能を持つが、ユニットおよびバックパックのコネクターなど、形状や配置が異なっている。



ビーム・ライフル

アレックスが装備するビーム・ライフルは、ビームの集束装置やユニットなどに独自のデバイスが用いられた専用装備であるため、性能や形状が独特のものとなっている。



シールド

オーガスタの開発局が、チョバム・アーマーの構造を流用したものに独自の組成による耐ビームコーティングを施したもので、この基本レシビは後の機体でも流用されている。



チョバム・アーマー

アレックス用に開発された追加装甲。破壊されることで衝撃を吸収し、本体へのダメージを軽減する装備。装甲を装着した場合の本機のコードはRX-78NT-1FA。

SPEC

型式番号: RX-78 NT-1
 頭頂高: 18.0m
 本体重量: 40.0t
 ジェネレーター出力: 1420kw
 姿勢制御バーニア: 19
 装甲材質: ルナ・チタニウム
 武装: 頭部バルカン砲
 ビーム・サーベル
 腕部ガトリング砲
 ビーム・ライフル

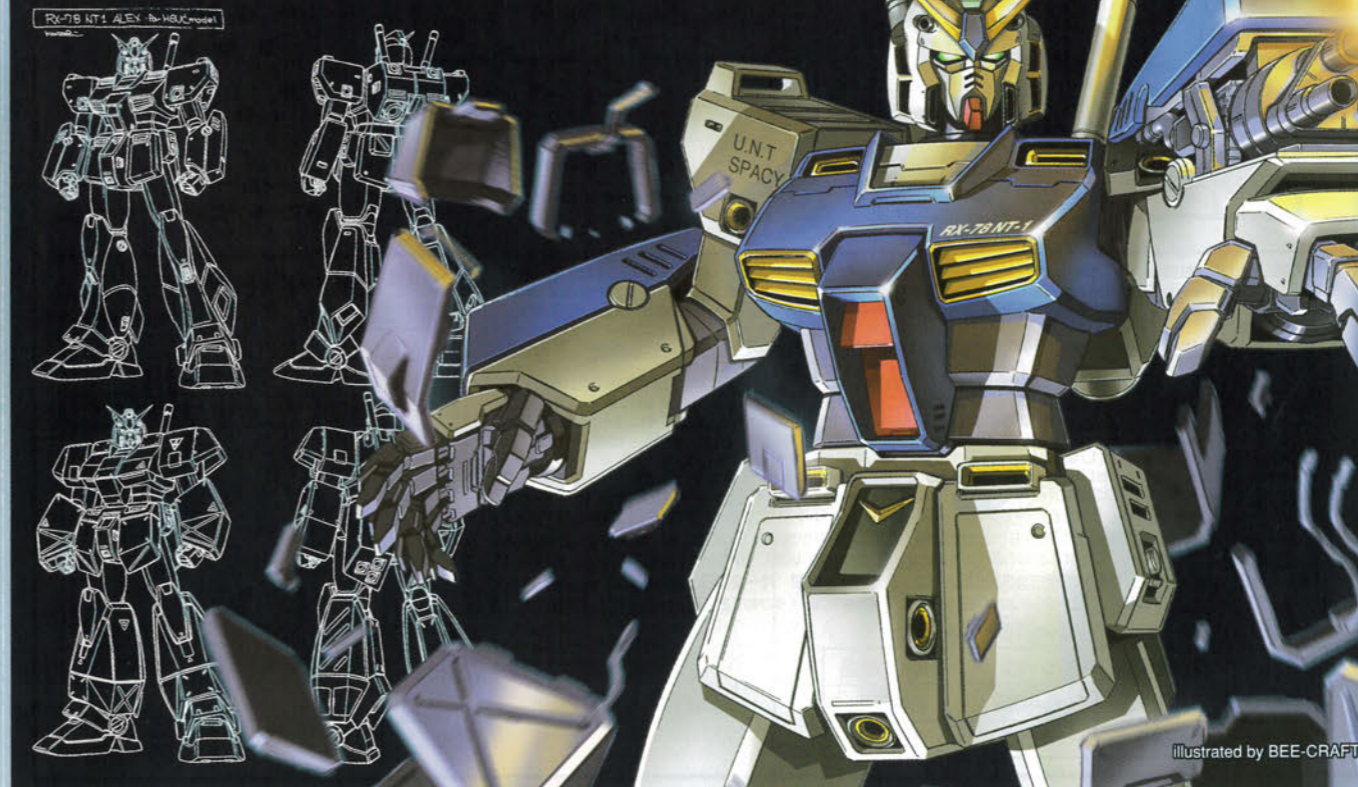
RX-78 NT-1 ガンダム NT1

RX-78NT-1「アレックス」は、OVAシリーズ「機動戦士ガンダム0080 ポケットの中の戦争」に登場する試作MSである。U.C.0079年12月18日夕刻。連邦軍の秘密施設「Gルーム」を見つけたサイクロプス隊は、二手に分かれ、NT用ガンダムの奪取もしくは破壊のためのルビコン作戦を発動した。サイド6の防衛隊を攪乱すべく、市街地をぬいながらGルームを目指すミーシャのケンプファー。迎撃のためシリンダー内へ進入したグレイファントムはMS部隊を迎撃に差し向けるが、ケンプファーは圧倒的な戦力差をもとめせず、猛然と進撃を続ける。一方、連邦軍兵士に変装してGルームに潜入したものの、些細なことから正体が発覚したバーニィら3人は、警備隊との銃撃戦をかくぐり、ガンダムの破壊を図る。そこにMS部隊を壊滅させたケンプファーが接近する。「反対です!コロニー内で戦うなんて!!」「敵の手にアレックスを渡せというのか!! 中尉!?」爆煙と硝煙が渦巻くなか、Gルームに駆けつけたクリスはアレックスのコックピットに滑り込む。その天井を撃ち抜き、アレックスを見下ろすケンプファー。間一髪、バーニィアをふかして脱出し、アレックスはそのまま立ち上がるや、ビーム・サーベルを構えケンプファーに迫る。しかし、ミーシャには勝負があった。「さあ来い! 戦い方を教えてやる!!」工場の敷地内にかねてより用意していたチェーンマインを取り出し、ケンプファーはアレックスに対峙する。



CG Work by YUJI KONNO (Jam)

RX-78 NT-1 GUNDAM NT1 (ガンダム NT1) デザインワークス(コンセプトデザイン: カトキハジメ)



Illustrated by BEE-CRAFT

警告 (けいこ)

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が突っている箇所がありますので、注意してください。●部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

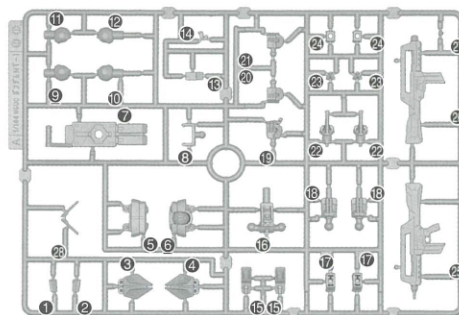
《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

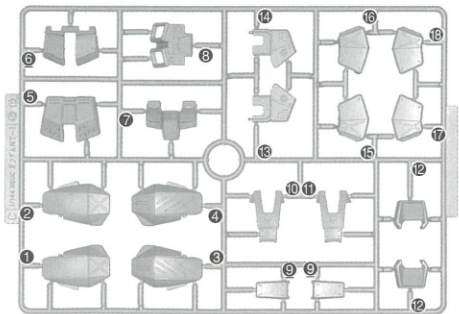
接着をするところ	シールの番号	デカールの番号	反対側に取り付けるパーツ	両側と同じパーツを取り付ける	向きに注意して取り付ける	ビスの締めすぎに注意
切り取る場所	部品を数値の個数作ります	先に組み立てます	後に組み立てます	数値に合わせて回転させます	どちらかを選んで取り付ける	反対側も同じように動かします

パーツリスト

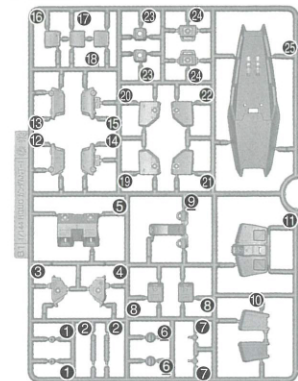
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



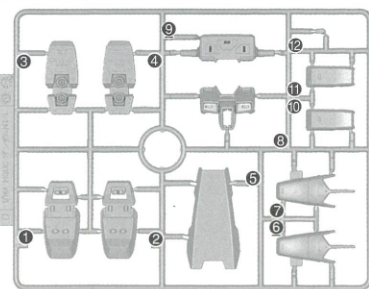
Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



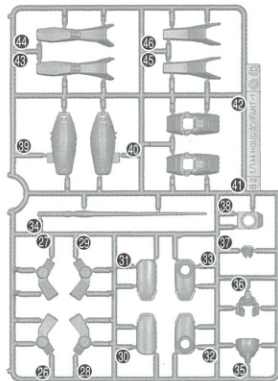
B1パーツ (スチロール樹脂: PS)



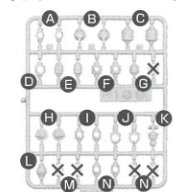
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



B2パーツ (スチロール樹脂: PS)



〈PC-123プラス〉
(ポリエチレン: PE)



- シール.....1
- マーキングシール.....1

1 **PCK (!)** **D9**

2

3 **PCA** **A9**

4 **PCA** **A11** **A12**

5

6 **A16** **PCG** **B11**

7 **x2** **D3 (D4)**

